

In Vogue on the Stage

TEXT/TATSUO NAKANO
PHOTO/MEGUMI OHTA



審査員長 仲野達夫
ファッションディレクター。
Kyoto Independent Designers
Collection主催



審査員 元橋一裕
本誌編集長。40才前
にしてトレンドウオ
ッチャー。京都の温
故知新を発掘する



審査員 与十田知子
エリートジャパンで数
多くのモデルを育てて
きた才女。一般参加の
モデルの指導も担当



Grand-Prize

グランプリ
グランプリを獲得したの
は織田小百合さんの作
品。タイトルは「空、飛
ぶ」。その名の通り、軽
やかな作品である。モ
デル前田智子さんは舞
台上で軽やかなステップ
を披露。モデル部門で
もグランプリに輝いた



1月15日、キタオジタウン主催で学生、一般から公募されたデザインを発表する「キョウトタウンファッションコレクション98」が開催された。「伝統と自然を育みながら進化を遂げてきた京都に暮らす私たちだけが持つことのできる感性を、今こそ明確に表現すべきではないでしょうか」と結ばれる開催主旨を中心に、その主旨文には伝統という言葉が多用されている。しかし、今回のコンテストにおける最終の目標はこの伝統をふまえた上で、新しい独自のトレンドが生まれる街づくりと、京都の明日を担う若いデザイナーの育成および次世代に活躍がたいされる新人モデル発掘にある。コンテストはデザイン部門とモデル部門に分かれ、デザイン部門では昨年中にデザイン画による一次審査を実施。審査にあたって我々審査員は5つの審査項目を設けた。

- ①コンテスト主旨をデザイナーはどのように把握し、表現したか。今回のテーマに「タウンウェア」とあるが、京都の街で装う服であり、しかも新しい独自の価値感を感じさせているか。
- ②素材の特徴を活かした服か。あるいは素材そのものを作り込んだ衣服であるか。
- ③色彩感覚に優れているか。
- ④襟や袖といったディテールと全体のフォルムのバランス感覚が優れているか。または新しいバランスを提案しているか。
- ⑤総合的な表現力。

以上5点となる。ただし今回の審査基準に縫製技術は重視しなかった。なぜなら開催目標である若いデザイナーを見いだすのであれば、縫製技術の未熟さには寛大であるべきだからである。

さて、いよいよショー当日。学生の部17

点、一般の部11点、合計28点の力作が披露された。その作品群は予想通り、京都の伝統を意識してジャポニズムを造形表現した作品と、タウンウェアとしての機能を重視した作品に分かれた。学生の部では、若々しく元気のいい作品が目立ったが、中でもニューエイジ賞を受賞した野村さんたちの作品は衣服の構造と染色のバランスが抜群であり、しかも着るとやさしい気持ちになれるようなデザイナーの心を感じさせてくれる作品であった。一般の部ではさすがに技術的に秀作ぞろいであったが、新しい息吹を感じさせる作品は少なかったように思う。その中で梅田友香さんの作品は卓越していた。ヘッドアクセサリから足元まで、春爛漫といった作品。自然との調和を感じさせる。そして、今コンテストのグランプリを満場一致で受賞した織田小百合さんの作品は、ショーに登場するなり、つい微笑んでしまうような幸福感に包まれた。見ていてなんの違和感もない。つまり、冒頭に挙げた5つの項目を満たしているながら、まさに希望に溢れる明日を感じさせる服である。この受賞作品は、今後の京都におけるファッションシーンを啓示している。

話を少し戻そう。私は今回、冒頭に記述した京都の伝統にどう取り組むかを考えた。その結論とは「伝統との決別」である。伝統を尊重し結合することは簡単である。しかし、偉大なる伝統との決別反逆こそが、新しい価値観を生むのではないだろうか。そしてその価値観を突きつけることこそがファッションの真髄である。今後のコンテストを通じて京都の伝統に対峙して、ひるまないデザイナーが出現することを予感した。



A スカートの動きがかわやかな作品は木下雅世さんデザイン。モデルとしても登場してくれた
B 岡本明日香さん「クラシックでも開きに行く時の装い」。モデルの堀口絵奈さんは準グランプリ受賞
C 田中里佳さんの作品は「活動的で写真好きなコにきてほしい」とか。モデルは瀧本結梨絵さん
D 甚趣の目のような街をイメージした作品は角崎友美さんデザイン。モデルは丸田仁美さん
E ニットやジャージを組み合わせた作品は田中逸枝さん作。モデルは上杉裕美さん
F 羽毛を利用して作った作品のタイトルは「ふきのとう」。奥村真由美さん作。モデルは宮本香織さん
G 妖精の森をイメージしたというコジマケンジさん作「植物園鑑」。モデルは太田裕子さん



Town-Prize

タウン賞
 自身のブランド「YUKA UMEDA」を展開している梅田友香さんは一般作品の優秀賞であるタウン賞を受賞。春爛漫な空気に富んだ作品タイトルは「京都の自然からの伝言」。モデルは大石彩子さん



Kyoto Town-Fashion Collection '98

1998.01.15
 THU AT
 KITAOJI TOWN

New age-Prize

ニューエイジ賞
 学生部門の優秀賞であるニューエイジ賞は学校から見える夕暮れを表現したという野村ヒサミさん・安達千晶さんの共作「夕焼け」。赤のグラデーションの色使いが秀逸ということで選出された。モデルは韓仁順さん



参加者一覧 (敬称略)

- デザイナー 学生の部
 木下雅世/岡本明日香/堀田千絵/田中里佳/角崎友美/田中逸枝/秋吉里美
 井上浩仁/山下善雄/小松絵梨子/織田小百合/森川記代子
 野村ヒサミ・安達千晶/北川朋子/奥村真由美/中村洋子/中本星子
- デザイナー 一般の部
 山内和子/中川享子/多田純一/高瀬肥子/小泉恵美子/伊豆蔵直人
 コジマケンジ/滝恵理子/花松君任/手原美良/梅田友香
- 一般公募モデル
 前田智子/古澤香織/大石彩子/宮本香織/瀧本結梨絵/太田裕子/木下雅世
 堀口絵奈/趙麗花/岡本並木/韓仁順/丸田仁美/上杉裕美/宇野聖子

- 主催 キタオオジタウン
- 協力 エリートジャパン/北大路ビブレ
- 後援 京都市/京都商工会議所/日本デザイン文化協会 京都支部/京都デザイン協会
 京都新聞社/KBS京都/エフエム京都/クラブフェイム (順不同)
- 協賛 大松株式会社/バリエイド営業部/株式会社キング/現代レミックス
 ロマン・吉忠グループ 株式会社クルー (順不同)